

昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1945年

Q. どこでしょうか？



地図を表示

(写真番号：02-44-3'をカラー処理)

A. 那覇市東町郵便局付近

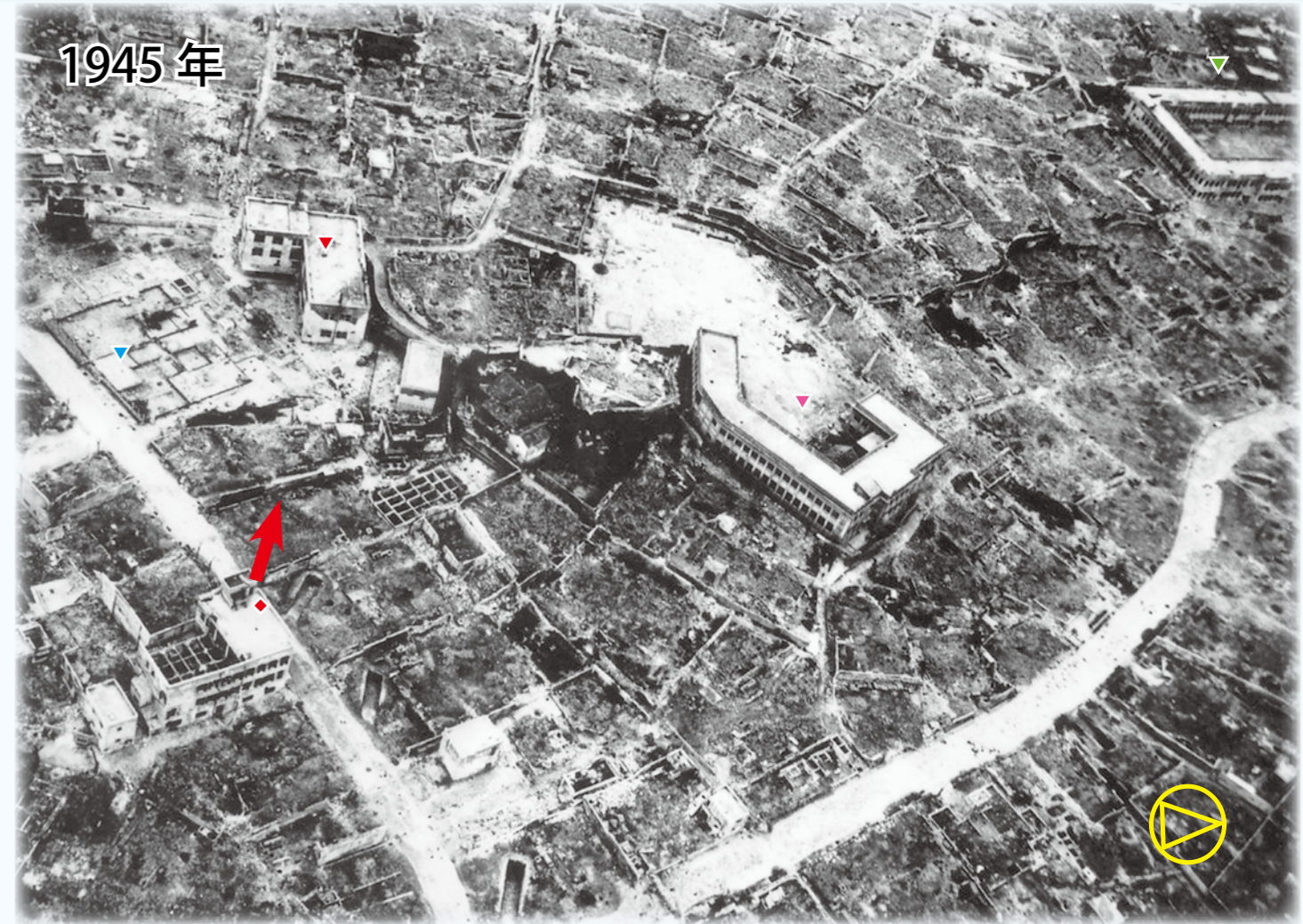
鉄塔と煙突が目立ちます。コンクリートの建物はほぼ残っているようです。写真右側には10・10空襲や地上戦の中で焼失を免れた木造の家がみえ、その背後にグラウンドのような広場がありテントがみえます。遠方には◆新天地劇場⁽¹⁾が、その背後には水平線がみえます。どうやらコンクリートの建物は、戦前の▼電話庁舎⁽²⁾（那覇郵便局電話課）のようです。その左側敷地内には那覇郵便局⁽¹⁾がありましたが、空襲で焼失しています。この写真は、近くにあった百貨店円山号⁽¹⁾から撮影していると思われます。



1944年10月10日

(資料コード:0000106165)
(雲の影など画像処理しています)

焼失前の天妃国民学校付近を北側からみてみます。表紙の写真は◆百貨店円山号から赤矢印方向を撮影したものと思われます。▼は那覇郵便局、▼電話庁舎、▼天妃国民学校(現在の天妃小学校)、▼那覇市役所になります。孔子廟前から見世の前(見世又前、旧山形屋所在地)の大門前大通りに百貨店や市役所があり、那覇市の繁華街でした。⁽³⁾



1945年

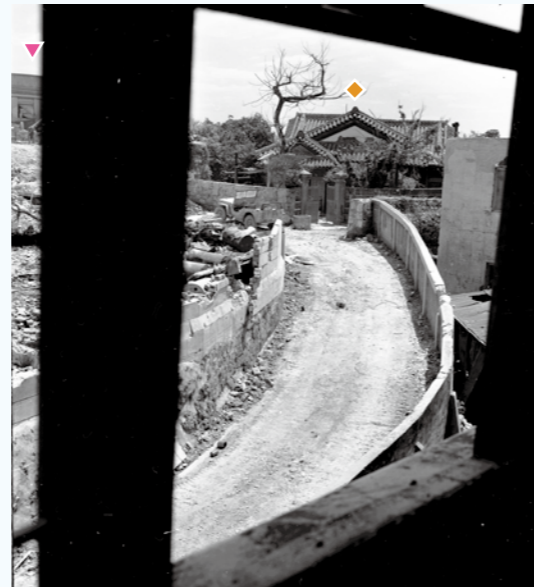
写真③ 焼失後の天妃国民学校付近を東側からみてみます。テントなどもみられないことから、米軍がまだ那覇に進駐しない前の頃の写真と思われます。表紙の写真は◆百貨店円山号から赤矢印方向の撮影で、▼は那覇郵便局、▼電話庁舎、▼天妃国民学校、▼上之山国民学校になります。(1945年)(写真番号:14-11-2)



写真④ 天妃国民学校の東側。(1945年8月21日)(写真番号:06-25-2)



写真① 表紙と同じ写真。電話庁舎の左側に大門前大通りがあり、右側には◆木造の家。さらにその右には天妃国民学校があります。次の写真②は電話庁舎から撮影していると思われます。(1945年)(写真番号:02-44-3)



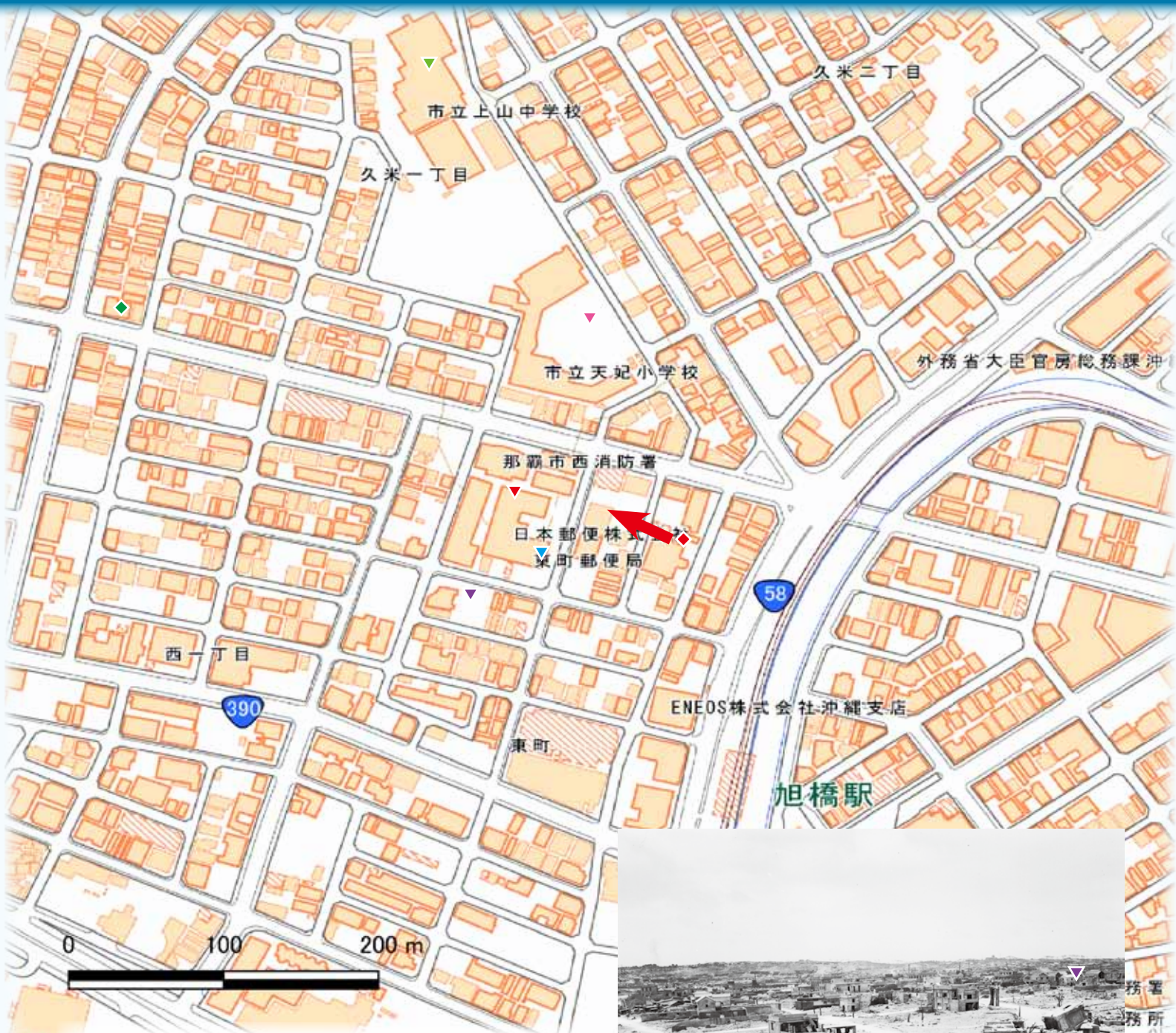
写真② 正面の家は、写真①の◆と屋根と樹木、▼は写真③の天妃国民学校の窓付近の形と一致します。電話庁舎の裏通りと思われます。(1945年か)(写真番号:107-34-3)



写真⑤ 北東側からみた百貨店円山号。(1946年1月)(写真番号:03-72-1)



写真⑥ 大門前大通りの東側からみています。正面の建物は百貨店円山号。右側に電話庁舎の鉄塔が見えます。(1945年)(写真番号:72-39-4)



写真⑦ 特徴的な交差点のかたちから、百貨店円山号から南西方向を撮影していると思われます。▼は那覇市役所の建物と思われる、倒壊した塔と考えられます。(1945年6～7月) (写真番号：06-66-4)

前頁の矢印の位置を現在の標準地図（国土地理院）に落としてみました。地図上の矢印や▼・◆印は空中写真とほぼ同じ位置になりますが、◆新天地劇場は空中写真から離れた位置にあります。場所の特定はGISを使いました。

- 注 (1) 那覇市史 1979『那覇の歴史民俗地図』
 (2) 琉球電信電話公社 1969『沖縄の電信電話事業史』
 (3) 川平朝申 1966『山河あり』

昔おきなわ風景探索 No. 21

発行日：令和8年（2026）6月15日
 編集執筆：当山昌直（1951年生）
 発行：（公財）沖縄県文化芸術振興会 公文書管理課
 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内
 電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

